

武士道とフェアプレーの共通点

東京都立大泉高等学校附属中学校1年 館合大和
東京都大田区立小池小学校5年 河崎智進
栃木県宇都宮市立星が丘中学校1年 佐藤由佳子
東京都中央区立銀座中学校1年 会田佳世

友情

- ・よいマナーを身に付けよ
- ・テニスを通じてよい人間になれ
- ・球趣 テニスを楽しみ健康になれ。行き交う球に友情を温めよ
- ・わが信じる友、われを信じてくれる友、何でも語り合える友。何をいっても誤解しない友。これを持ち得たものは人生の最も大きい幸福を得たものというべき。
- ・武士道 「礼」思いやり。感謝する気持ち
- ・行き交う球に友情を温めよ。テニスを通じてよい人間になれ

まとめ

わが信じる友、われを信じてくれる友、何でも語り合える友、何をいっても誤解しない友、思いやれる友、これらを友情という。

約束

- ・必ず時間を守らなくてはならない。
- ・福田雅之助先生は「時間を厳守して決して遅刻してはならない」。
- 佐藤次郎さんは、「一人の身勝手な行動で遅刻してはならない」という考えを持っている。
- ・テニスはテニスを通じて立派な人間になる修行である。
- ・道徳教育
- ・立派な人間になる修行をすること。

まとめ

約束というのは、何人かの人の中で成立するものであり、一人の身勝手な判断で破ってはいけないものである。

規則

- ・規 一球一球を大切に全力をあげるべきだ→
義・勇・礼
- ・フェアプレーをモットーとせよ・・・勇・義・礼
この一球を真剣に打て・・・勇・義・礼
規則に従い、常に真剣全力を尽せ・勇・義・礼
- ・自制心を持って規則にしたがうこと
- ・何でも本気でして、ふだんからベストを尽くすこと

まとめ

自分の欲望をおさえてルールにしたがうことである

節義(1)

- ・コートマナーが大事・・・福田先生は、いたずらに判定に、不服な態度をとってはならない。いたずら = 相手からの信用を無くす。
そうするとコートマナーが悪い。
だとフェアプレーにはならない。
- ・佐藤さんは、フェアプレーがしっかりしている。そして、コートマナーの良さで外国人の人々にも高く評価され、新聞に取り上げられたくらいコートマナーがよかった。「武士道」の中には、「礼」というのがあって、それには親切で人の気持ちに対する思いやりを目に見える形で表現すること。私たちは、敬けんな気持ちをもって、およその悪事ということをつくらまない。このことをやっている人は、相手からの信用がもらえる。このことをコートマナーとは書いてはいないけれどコートマナーと同じ内容だと思う。サムライは裏取引や不正はしない。
- ・自分の責任を果たして、小事を大切に進んでいくこと。
- ・小事を大切にして、進んでやることで、小事が大事になるのである。

節義(2)

- ・球拾いを本気でやればよい経験を得る。
- ・一球に精神と動作を集中し、一打に全精力を集中せよ。
- ・平生どんな練習をしているかが、自ら練習に現れる。
- ・Be a hard fighter and a good loser.
- ・フェアプレーとスポーツマンシップを発揮すること。
- ・「弱きを助け、強きを敬え」
- ・勝利は技術だけではとれない。全人格でとるんだ。
- ・節義、フェアプレーの精神

まとめ

人としての正しい行いをする事である。

礼儀(1)

- ・礼儀正しくプレーできる人がフェアプレーができる人。「武士道」では、親切で人をむやみにうらやまず、自慢せず、思いあがらないこと。自己自身の利を求めず、容易に人に動かされず、およそ悪事ということをつくらまない」書いてある。相手を思う気持ちが一番大事。佐藤次郎さんは、「勝利は技術だけではとれない。全人格でとるのだ」と考えて強い意志で取り組んだ。全人格には、礼儀と技術そして全力で勝つことだけではない。テニスの目的はスポーツマンシップを発揮すること」。スポーツマンシップは礼儀だから福田先生と同じ考えを持っていると思う。

礼儀(2)

- ・よいマナーを身に付けよと書いてある。佐藤さんと同じように常に全力を尽す。規則には、礼儀が入っている。よいマナーとは礼儀だと思う。福田雅之助先生は、「テニスはうまい球を打って、勝ちたい気持ちが必要だということだと思う」。小泉信三先生は、正しくいさぎよく礼節をもって勝負すること。礼節は礼儀ということだから、小泉先生の礼儀が必要と考えている。球趣の中には、規則に従い常に全力を尽せと書いてある。
- ・礼節をもって無礼をにくむこと。
- ・勇 = 猛、敢、胆、気
- ・「勇」・・・正しいことをする勇気もしくは義をする勇気。⁸

礼儀(3)

- 心を練磨すること。
- 自信が持てるまで、精神を練磨すること。
- 相手に敬意を示して、全人格で勝利すること。
- 果敢なる闘志をもつこと。
- 果敢なる闘志があればあるほど、そのいさぎよき敗者であること、
- 下積みの多くの部員がいなくては、強い選手は出てこない。
- いさぎよいおこないをしてひきょうをにくむこと。

礼儀(4)

- 本気な人間になれ
選手は、部員の下積みに感謝すること。
つまらぬと思わず、喜んで進んでやる心があれば嫌ではなくなる。…勇・義
- テニスは技術だけではなく体力も含まれている。
→体の自己管理…礼
- 正しい行いをして不正をにくむこと。
- 義…悪はいまわしいという考え。正しい行動
- スポーツが与える三つの宝
不正、卑怯、無礼をにくむ精神
正しく = 義、潔く = 勇、礼節 = 礼をもって勝負することである。

礼儀(5)

不可能を可能にする過程

→練習→行動→義

- ・何でも本気でして、ふだんからベストをつくすこと。

まとめ

正しい行いをして悪事をにくむ精神であり、果敢なる闘志を持ち、相手を敬うこと。

まとめ

「武士道」とフェアプレーの共通点

～ 友情・約束・礼儀・規則・節義～

どんなささいなことでも責任をもって果敢に取組み、心を練磨する。